



# 洛風だより・ほかほか通信 ～保護者のみなさまへ～

## 全力疾走に感動！！すごいな～！！

### 本物の笑顔を見せてくれました

今年も、初音学区親睦運動会に約20名の生徒が参加してくれました。10名中ほとんどが女子で臨んだ綱引き、これが思いのほか健闘、粘っていました。玉入れ。30秒間で入ったのは3個。もちろん、これまでのワースト記録です。でも、一生懸命でした。アナウンスでワーストと紹介されても、落ち込むことなく、笑顔で帰ってきました。どの競技も上手くいかないことがあっても、笑顔で楽しむことができました。しかも、どれも全力でチャレンジしていました。

そして圧巻は、600mリレー。男女3名ずつのリレーです。今年も昨年に引き続き、予選3位のタイムで決勝に進出。これだけでもすごいのですが、決勝の時のことです。運悪く、スタートはアウトコース。4番目で第2走者へ。バトン受け取った彼は、予選よりも鋭く走り出しました。ところが、前を行く選手が転倒、それを追い抜こうとした彼は勢いあまって、大きく転倒してしまいました。

ここからが、すごかったのです。2回転はしたでしょうか、それでも、彼は必死に立ち上がり、大きく離された前の走者を追ったのです。その後の走者も諦めることなく走り、アンカーまで全員全力で駆け抜け抜けてきました。胸が熱くなりました。

誇らしげに景品のお米を抱えて戻ってくる生徒たち、声をからして応援していた仲間が温かな拍手で出迎えました。本当によくやりました。

また、温かく生徒たちを見守っていただいた初音学区の皆様にあらためて感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。

9月の修学旅行もとても良い雰囲気で行われました。あらためて、洛風にはいい風が吹いているのだなと思いました。このように、生徒たちが思い切って何かをやってみようかなと思える、そんな環境が根付いてきているのだなとも思います。



### 子どもの心に残るスペシャルな出来事を！！

運動会と言えば、私（校長）は、小学校の時、運動会がとても苦手でした。特に4年生ごろまでは、走るのも遅く、「どうせまたべったこや」と思い、二タニタと走って、叱られたりもしました。しかし、その時は、笑っているしかなかったのです。

そのような私を変えた出来事がありました。5年生の担任の先生が、家庭訪問の時、できの悪い勉強のことは一切言わずに、なんと腹筋をするように母に伝え、腹筋の仕方だけを教えていったのです。そして、半信半疑でなんとなくやり始めました。そうしているうちに、身体が動きやすくなって、もう少し運動してみようかなと思い、朝に軽くランニングを始めてしまったのです。そこへ、友人のY君が一緒に走りに来てくれたのです。なんかうれしかったことを覚えています。（Y君とは今でも親交があります）

そして、最も苦手としていた体育の時間の持久走の時、なんと、後ろから2番目でゴールしてしまったのです。初めてべったこでない自分！その時、みんなが拍手で迎えてくれたこと、もう50年も前のことですが今でも覚えています。このようなことは、その担任の先生も、クラスのみんなも忘れているでしょう。一緒にランニングをしてくれたY君も忘れていました。しかし、私にとっては一生の励みになっている出来事なのです。

このように、まわりの大人には思いもよらないことが、子どもにはスペシャルな出来事として自信につながることもあります。これから、行事や体験の中で、心に残るスペシャルな出来事に出会ってほしいと思っています。

お知らせ

10月26日(水) カウンセラーを囲む会

11月20日(日) 日曜参観